

ニュースの追跡・話題の発掘 03(3471)7242 / Ex-ル・tokuho@chunichi.co.jp



二十三日、静岡県熱海市内のホテルで開かれた日韓首脳会談。その夕食会の席で金大中大統領は、「日韓間に海底トンネルができれば、北海道から欧州までつながる。将来の夢として考えるべき問題では」と、海底トンネルについて触れた。

あへまで、夕食の場での話題で、「特に日本政府の反応はなかった」（政府筋）というのだが、韓国では南北和解ムードに乗り、韓国と朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）をつなぐ鉄道ルート京義線（ソウル―新義

札幌駅でロンドン行き列車に乗る？九州と韓国の間を海底トンネルでつなぐという構想が浮上している。実現すれば朝鮮半島を経由して欧州までつなぐ鉄道ルートもできる可能性もある。ばく大な建設費に加え、技術的にもハードルが高そうだが、夢は膨らむ。

日韓海底トンネル構想浮上

夢の一大プロジェクトと言え、日韓海底トンネル構想だが、実現までには問題が少なくない。

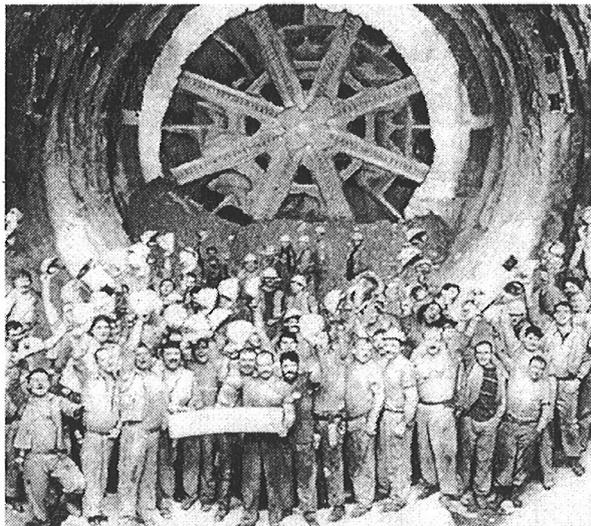
大手ゼネコン関係者によると、「海底トンネルの工事には、東京湾横断道路（アクアライン）で用いられたシールド工法や、発破と掘削機を使って掘り進めるNATM工法などが考えられる」といふ。

シールド工法ではトンネルを掘るシールド機を中継するために、人工島を設置する必要がある。アクアラインの際は人工島は一つだったが、「百八十キロもある日韓間の場合、沓岐、対馬

夢のシールドお先真の暗

技術的に高いハードル

『30年はかかるかも』工費6兆円の試算も



英仏海峡トンネルの貫通を祝う作業員たち。日韓トンネルの貫通はいつになるのか...=1990年11月20日、英国側で（ロイター）

「歴史的に見ても、鉄道により文化や政治は広がりを見せる。仮に日本、朝鮮半島から中国、ロシア、欧州が結ばれ、物資や人の流れが生まれれば、沿線国には平和的空氣の醸成が期待でき、経済効果も出てくる。下手な平和条約を結び安定は保たれ、プラス面は大きいと思」と指摘する。

そうなるのであれば問題は技術面と費用の問題。JR九州では、海底トンネル構想について「調査もしておらず、まったく考えていない。国家的なプロジェクトであり、一企業の話ではありません。それよりも、九州新幹線の方が先です」と話す。

従来型の公共工事に批判の目が向けられるご時世。巨大なトンネル構想の行く先は真つ暗のようだ。

州)の復旧工事が始まったばかり。その起工式(十八日)でも、金大統領は「(京義線の)連結が実現すれば、朝鮮半島はユーラシア大陸と太平洋を連結する拠点として、世界経済の中心軸となり、朝鮮半島の時代が訪れる」とも述べており、海底トンネルは京義線連結後の構想との位置づけのようだ。

海底トンネル構想は、戦前からあり、一九九〇年には来日した盧泰愚大統領(当時)も触れており、日本側も関心を示して

JRは『九州新幹線が先』

を利用する以外にも人工島は必要になる(ゼネコン技術者)といふ。また、「シールド工法では水深が百メートル以上になると、八八年春に開業した青函トンネル(全長約五十四キロ)の場合、総工費はトンネル本体で五千二百億円、線路施設などが千四百億円、計六千六百億円。

英仏海峡(ドーバー海峡)を横断するユーロトンネル(全長約五十七キロ)では百億(約二千六千億円)にも上っている。

これを裏付けるようなデータもある。先ごろ、韓国のシンクタンクの研究員が研究誌に発表した論文によると、釜山が同市南西部のコシエ(巨済)島と佐

「最高で21兆円」とも

賀県唐津市の約二百三十キロを橋と海底トンネルで結んだ場合、「建設費は約六兆円」と試算。経済効果は日韓両国で十六億二千一兆円ともはじき出している。

一方で、トンネルができる、国防上の不安が生まれはしないかが気になるが、国際政治評論家の桃井真氏は「軍事的には脅威になることはない」として続ける。

「下手な平和条約よりプラス面は大きい」